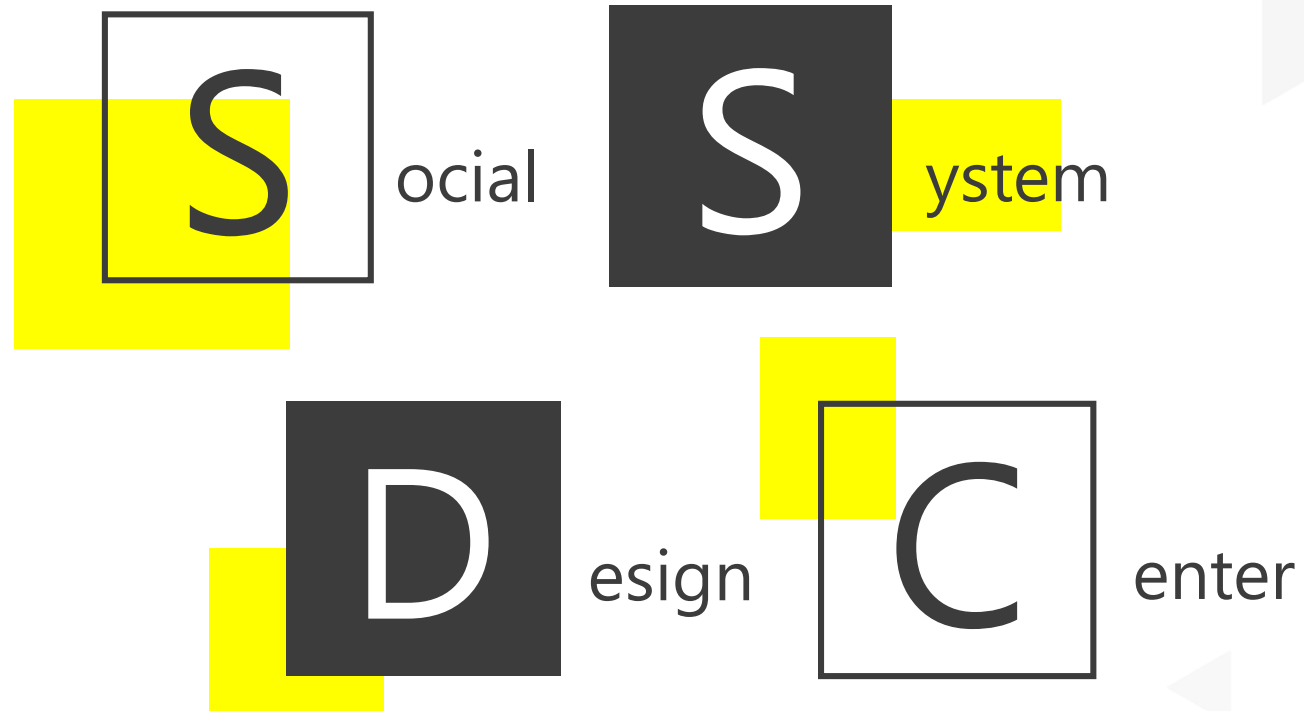


一般社団法人 社会システムデザインセンターについて

— AI・IoT・ロボティクスによる人と社会の幸せな未来のために —

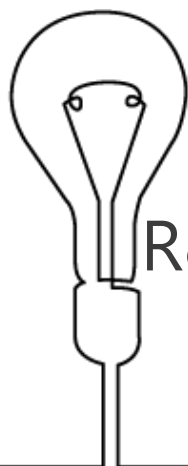
2020.04-06 Version 3.8



SSDC = Social System Design Center



プロローグとしての旧 SSDC1.0



2015年、日本ビジネスシステムズは、
「ITで社会に貢献する」ことを目標に
R&D組織「社会システムデザインセンター」を設立



社会システムデザインセンター設立の背景

「Sler 誇りある仕事」

Slerの仕事とは？

お客様の要望に応えるため
常にQCDの向上が求められる

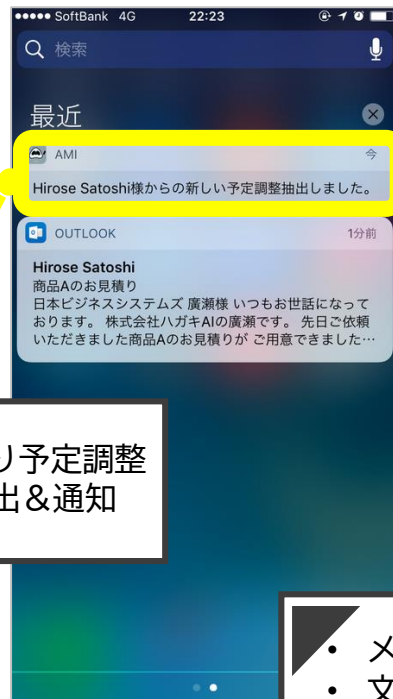
とってもやりがいのある仕事だけど、
少しだけ 1%くらい お客様のためだけでなく
世の中に直接役に立つ仕事を生み出せないか
こんなに有能な人が多い業界だから
せめて、アジアに通用するプロダクトアウトをしたい

JBSではMS製品を扱っているため、文字情報から自然言語処理に取り組む
AIの研究者に教を請いながら
成果は「metis ami」として製品化
以下3年間の活動・・・

製品開発R&D：AIを利用し、オフィスワークを幸せにするソリューション開発・製品化

JOB：タイムリーにスケジュール調整依頼メールへの対応を完了したい

気付き



AI分析により予定調整
メールを検出&通知

空き日程確認



- ・メール文面解析
- ・文中の日程候補とメンバー&会議室空き情報取得→候補絞り込み
- ・参加可能日選択

返信&予定設定



確定日時で
返信文作成



【Open HUBセミナー】日本のITを考えるコミュニティ

JBS虎ノ門オフィスで、社内外（学生も含む）を対象に、エキスパートからIT・AIに関連するご講演。
講演後、懇親会を開催し、情報交換、コミュニティ作りを促進



科学技術振興機構
上席フェロー

岩野 和生 氏

2015年4月28日
『IT技術トレンド・ビジネス文脈
での仮想化・標準化・SOA』



公立はこだて未来大学
学長

中島 秀之 氏

2015年7月30日
『人工知能の過去・現在・未来』



新日鉄住金ソリューションズ
執行役員

南 悦郎 氏

2015年12月16日
『IoTとFinTechの背後にあるもの』



新日鐵住金株式会社
名誉会長

今井 敬 氏

2016年3月4日
『日本が世界で輝き続けるために』

【Open HUBセミナー】日本のITを考えるコミュニティ

JBS虎ノ門オフィスで、社内外（学生も含む）を対象に、エキスパートからIT・AIに関連するご講演。
講演後、懇親会を開催し、情報交換、コミュニティ作りを促進



日立製作所
研究開発グループ技師長

矢野 和男 氏

2016年8月5日
『人工知能でビジネスはどう変わるか』



棋士

羽生 善治 氏

2016年10月31日
『AI・人 そして社会』



名古屋工業大学大学院
教授

伊藤 孝行 氏

2017年2月24日
『エージェント技術による人間の
コレクティブインテリジェンスの
促進』



公立はこだて未来大学
副理事

松原 仁 氏

2016年10月19日
『人工知能は何ができて何ができないのか』

【Open HUB】日本発アイデアの創出支援

Hackathon支援

- JPHACK
- TeaTime Hackathon
- Stanford Health++







一般社団法人 SSDC設立の背景

「Sler 誇りある仕事」

SlerはITに関してはプロです。

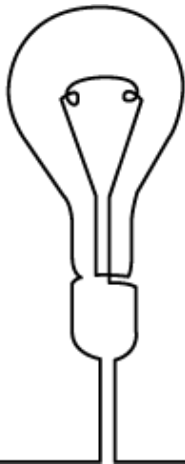
- ✓ あらゆる要望をIT技術を駆使して構築できます
- ✓ とにかく新しい技術に敏感です
- ✓ 日常的に新しい概念を取り入れ、組織に浸透・改善することが得意です
- ✓ 英語に抵抗がありません
- ✓ 病院・警察・行政。あらゆる現場に仲間がいます
- ✓ 様々なプロで構成されています
- ✓ チャレンジ精神が旺盛でベンチャー企業がいっぱい

何でもできそうなんだけど、自ら何も作ってなかった!?
自分たちでも直接世の中の役に立つことをやろうよ

日本を代表する科学者と 様々な現場で築いたネットワーク
同じベクトルで協力し
世の中のバージョンアップに役立つ
家族に誇れる仕事を一緒にやろうよ

そして

新生 SSDC2.0



SSDCはIT企業とAI・IoT・ロボの科学者が
中心になって発足した団体です。

理事・監事・顧問

2020年4月現在 五十音順



代表理事

日本ビジネスシステムズ株式会社 取締役副社長

牧田 和也



副代表理事

札幌市立大学 理事長・学長
工学博士

中島 秀之



理事

名古屋工業大学 教授
博士（工学）

伊藤 孝行



理事

大阪大学 先導的学際研究機構 教授
株式会社みらい翻訳 代表取締役
株式会社コトバデザイン
執行役員社長CEO
科学技術振興機構 CREST 人工知能領域 研究総括
博士（工学）

栄藤 稔



理事

株式会社三菱総合研究所 取締役会長

大森 京太



理事

公立はこだて未来大学 理事長・学長
工学博士

片桐 恭弘

理事・監事・顧問

2020年4月現在 五十音順



理事

東京大学大学院 教授
次世代知能科学研究センター（AIセンター）長
工学博士

國吉 康夫



監事

仁法律事務所 代表
弁護士

中島 将仁



顧問

大力 修

アドバイザー



アドバイザー

セグエグループ株式会社 取締役副社長
AXLBIT株式会社 取締役会長

天野 信之



アドバイザー

ダッソー・システムズ株式会社 顧問

天野 吉和



アドバイザー

名古屋工業大学 名誉教授
株式会社エンセファロン 代表取締役
工学博士

岩田 彰

アドバイザー

2020年4月現在 五十音順



アドバイザー

明治学院大学経済学部国際経営学科 専任講師
東京大学大学院情報理工学系研究科 客員研究員
博士（経営学）

岩尾 俊兵



アドバイザー

株式会社アイティーファーム 代表取締役社長

黒崎 守峰



アドバイザー

京都大学 情報学研究科 准教授
博士（情報理工学）

末永 幸平



アドバイザー

公立はこだて未来大学 客員教授
工学博士

高柳 浩



アドバイザー

神戸市 医療・新産業本部 新産業部 新産業課長
博士（情報学）

多名部 重則



アドバイザー

ラーニング・アントレプレナーズ・ラボ
株式会社代表取締役

堤 孝志



アドバイザー

名古屋経済大学 経営学部 教授
博士（システム・マネジメント）

角田 仁

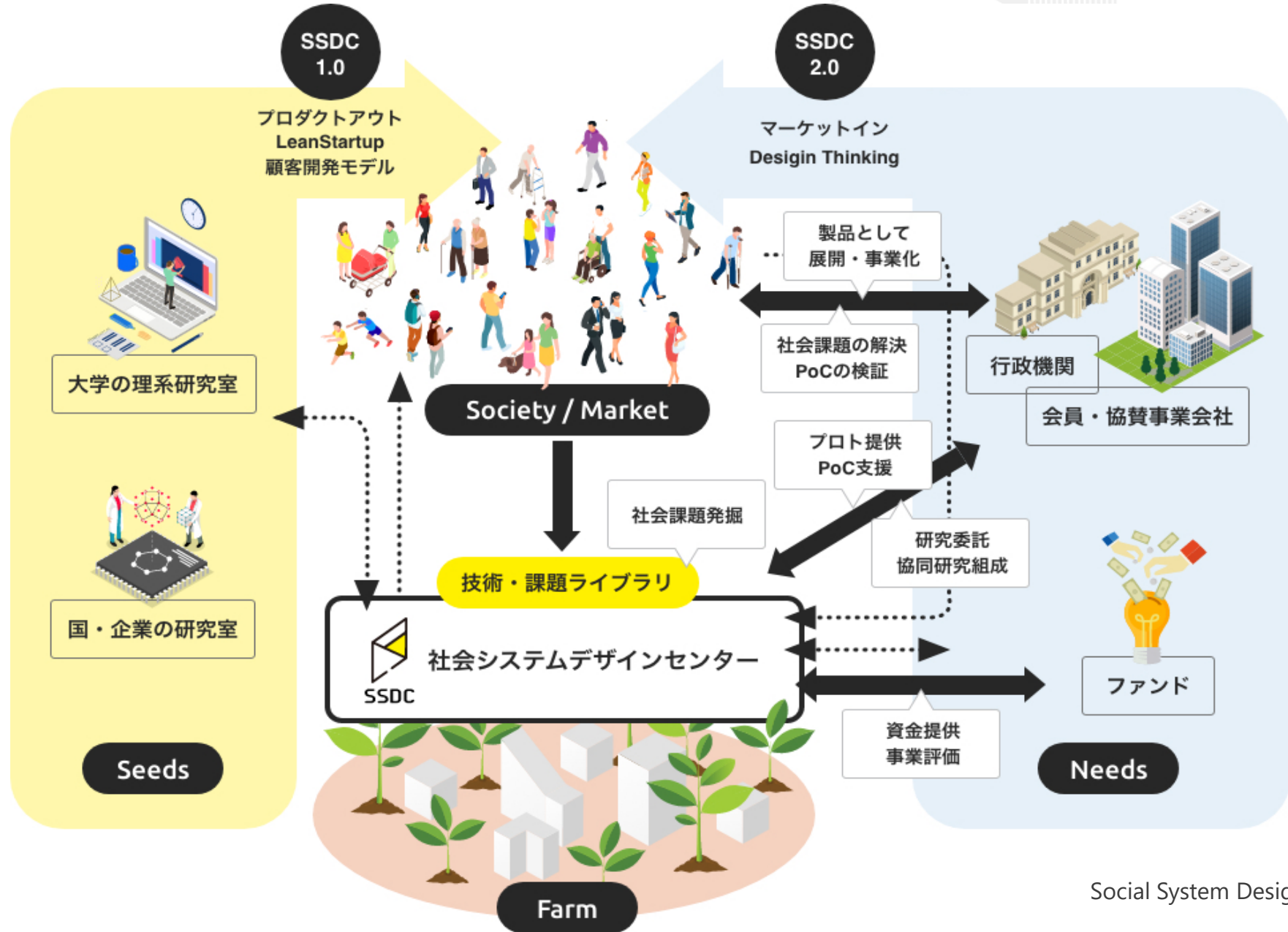


アドバイザー

九州大学 主幹教授
工学博士

福田 晃

基本構想：SSDCをハブとした事業化サイクル





SSDCの役割

「AI・IoT・ロボティクスによる人と社会の幸せな未来のために」

どうすれば、現在の社会生活で解決したい課題をAI・IoT・ロボを活用しビジネスとして成り立たせることができるか。我々ができる社会貢献とは何か。
AI・IT・ロボによる、社会課題解決の本格的な取り組みは、ようやく端緒についたばかりです。しかも多くの取り組みは、技術シーズに基づくものです。

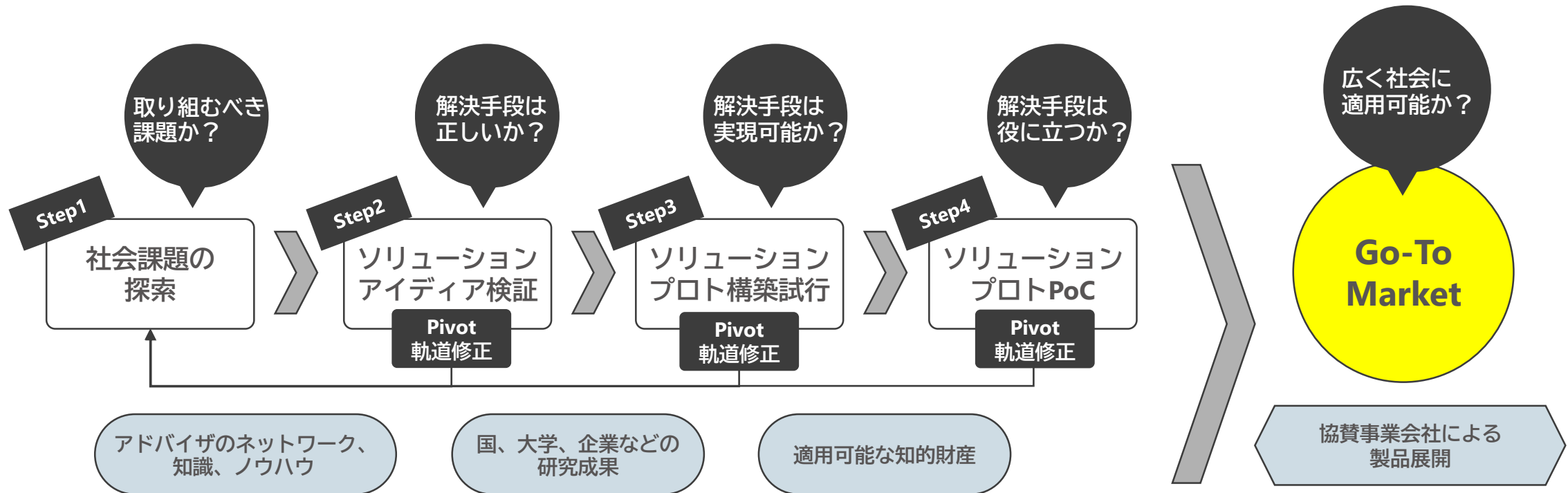
SSDCは、課題の発見を起点として、それをしっかり定義し、現在・未来の科学技術を結び、新たなソリューションを生み出します。そして、**PoC**による価値検証を行い、課題の解決策を探ります。また、未来を切り開くさきがけ的な価値をつくります。

その過程において、起業家、大学、研究機関、行政、投資家と連携し、人・技術・資金という重要リソースを得つつ、新たな事業を生み出します。

結果として、私たちの取り組みが、より良い社会の発展に貢献し、さらには、日本の若者による起業の芽・苗をたくさん育むことに繋がればと願っています。

「課題」起点で、ソリューションをプロデュース

SSDCは、課題：ニーズ探索を実施し、大学、関連企業などのネットワークが保有する研究成果・知的財産などを最適に組合わせたソリューション・プロトタイプを作成。最先端のイノベーションプロセスに沿って、早期に具体化します。





顧客課題を最もよく知るSlerが作る
課題発見型の製品化プロセスを提供

1

Slerは最も多くの現場で活躍している

Slerは社会の隅々まで浸透して活躍している。その現場力を生かして、課題探索・価値創造コミュニティを構築

2

潜在顧客と課題の発掘活動

SSDCメンバーがアーリアダプタとして協力してくれる潜在顧客とその顧客が持つ、解くべき課題を発掘（会員企業と協業）。
その際、ライブラリ化した研究テーマ、知財で解決可能な課題への取り組みを優先し、短期でプロトタイプ（MVP）作成、検証を実施

3

成長段階の手前まで事業シーズを育てる

解く価値のある課題、アーリアダプタで検証されたソリューションが明確になった時点で、次の拡大事業化までのロードマップを作成

4

大学研究テーマの価値、知的財産をライブラリ化

SSDCメンバーが関係大学、企業の研究テーマ、知的財産を理解し、分野ごとに提供価値を軸にライブラリ化



SSDCの事業

1

事業創造デザインプログラム事業

事業創造のための課題&顧客発見からプロト、MVP、モデル検証までをLeanStartUp/JTBD/DesignThinkingに準じたフレームワークで行います。

2

共同研究支援事業

研究室のシーズと社会のニーズをマッチングさせ、新たな事業を組成します。企業からの要望を聞き、適切な研究室を紹介し、事業化の検討を行います。

3

インキュベーション事業

組成された新たなビジネスをファンドと、学生、若手起業家、社内ベンチャーをスカウトし新しい会社を設立していきます。

4

人材育成・セミナー事業

未来を想像し価値を創造していける人材を育成するため、AI/IoT、フレームワーク、研究テーマ解説、社会課題解決方法のセミナーを開催していきます。

5

OpenHUB事業

社会課題を解決につながるニーズ・シーズをもつ各界の第一人者とのディスカッションを通じてネットワーキングの場を提供します。

SSDCの事業効果



一般社会に対して

- 社会課題の解決
- 課題探索、検証
- 解決策の提示
- PoC展開先として効果検証適用



大学、研究所に対して

- 技術シーズの適用課題の発見
- 課題解決を必要とする企業・行政との協業
- 企業、行政からの共同研究
- プロセス評価レポート



事業会社・行政機関に対して

- 課題探索と技術シーズの発見
- 課題再定義、PoCの支援・実施
- 課題解決に必要な技術保有する大学・研究所との協業・研究
- PoC検証ソリューションの提供
- SDGs ESG経営の実践
- 技術セミナー
- プロセス評価レポート



起業家に対して

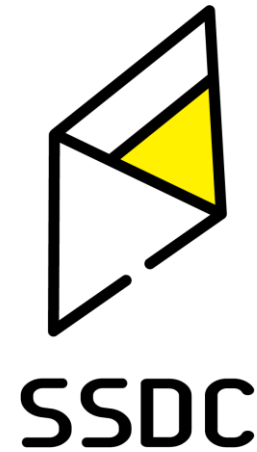
- 起業のヒントとシーズの発見
- 起業プロセスのシュミレーション
- エンジェルの発見
- 投資家・企業・自治体・研究室とのネットワーキング



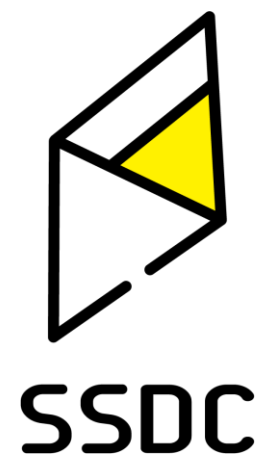
投資家に対して

- シーズの発見
- 投資機会の発見
- 起業家の発見

Logo Concept



SSDCのそれぞれのアルファベット、S/S/D/Cをデフォルメして組み合わせている。
また、3つのトライアングル（ビジネス・アカデミック・パブリック）が合わさり、全体として羅針盤の針のフォルムを成し、未来への方向性を指し示している。
カラーリングは、ベースを印象的なブラックにすることでインパクトを与え、小さい三角に、希望やアイデアを意味するイエローを使用し、明るい未来への期待感を演出している。



人と社会の幸せな未来のために